



令和7年度

牛込二中だより

【第12号】

発行日 令和8年2月10日

発行 新宿区立牛込第二中学校
校長 小泉 雅一Web <https://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>

【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人



生徒に大きな変化が見られたのは、2日目の午後です。どの班もリフトに乗って、山の上から一列になって滑っていました。時折、転んでしまう生徒もいましたが、一所懸命に立ち上がり、班員の後を追いかけます。その場に、弱音を吐いたり、転んだ班員のことを責めたりする生徒はいません。とにかく、インストラクターを先頭に、みんなで励まし合いながら滑り降りています。その懸命な生徒の姿に目頭が熱くなりました。



2日目には、全員が山の上から滑っていました。



リフトには、まず一人で乗りました。

初めてリフトに乗るときの不安そうな表情も印象的でした。ただでさえ、慣れないスキーブーツとスキー板を履き、足首は固定され、雪面に立っているだけでも大変なのに、常に動いている“無防備なベンチ(?)”に座らなければならないのです。乗るときよりも下りる方が難しかったようで、数回ほどリフトを止めてしまいました。

既にスキーの経験がある生徒は、初日からリフトに乗って滑っていました。たとえ経験者であっても、一列になって弧を描きながら滑るのは難しいことです。スキー板にしっかりと体重が乗っていないと、ス

ピードをコントロールすることが出来ず、前の人を追い越してしまいます。ところが、感覚を掴むと、ゆとりの表情を浮かべながら仲間と楽しそうに滑っていました。

スキーは、このスキー移動教室という学校行事がなければ経験することがないままの人もいたかもしれません。また、自分一人だったら、チャレンジしてみようと思うことはなく、未経験のままだったこともあったかもしれません。きっかけは、「みんながリフトに乗るから仕がない。」という気持ちでついていっただけかもしれません。ですが、みんなで声を掛け合い、励まし合いながら最後までやり遂げることが出来ました。生徒は、あらためて仲間の存在の大きさを実感するとともに、また少し成長したように思えます。これからも“不安だったけど、やってみたら楽しかった。”という経験を増やしていってほしいです。



初日から一列になって滑るスキー経験者

美術鑑賞教室（1年生）

令和8年1月25日(月)、1年生はSOMPO美術館へ行ってきました。

ゴッホ作の「ひまわり」をはじめ、新宿にゆかりのある作家の作品など、班ごとに多くの絵画を堪能しました。

同じ1枚の絵画を眺めながら、一人ひとりが感想を言い合っていました。



人によって、捉え方が異なっていて面白かったです。班員の意見を聞くことによって、自分では思いつかなかつた新たな発見があり、美術館での楽しみ方が一つ増えました。

令和8年度より通知表発行を年間2回から3回へ

昨年12月に実施しました学校評価アンケートにおきまして、保護者より現行の通知表を年間2回発行していることについて、ご意見も頂戴しています。特に、通知表を発行するタイミングが年2回では、3年生のときに進路を選択する際、参考となる資料が少なくて困るとのご意見が多数見られました。

通知表は、生徒自身の学校生活を振り返り、学習方法を見直したり、長期休業期間の過ごし方を検討したりと、生徒の学習の成果を測るだけではなく、今後の学校生活を見据えて新たな目標を設定する際に必要な資料であると捉えています。また、3年生の段階では、進路を選択する際に大切な資料となることは言うまでもありませんが、1年生の段階から中学校を卒業した後の自分自身を見据え、目標や課題の見直しを図る頻度（タイミング）も重要であると考えます。

そこで、令和8年度より、通知表を年間2回発行から各学年末に年3回発行に変更します。また、定期考査の回数は、現行の4回に変更はありませんが、1学期に期末考査、2学期に中間考査及び学期末考査、3学期に学年末考査を実施することとし、実技を伴う教科の定期考査は、各学期末のみを基本とします。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

表彰の記録



【吹奏楽部】 第59回 東京都中学生アンサンブルコンテスト 銀賞

〇〇〇〇（2年），〇〇〇〇（2年），〇〇〇〇（2年），〇〇〇〇（2年）